

令和6年度 第3回 長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 会議録

1 日 時 令和6年6月25日（火） 午後1時30分～2時05分

2 場 所 長野市役所第一庁舎5階 庁議室

3 出席者

委 員 21名中16名出席

事務局 保健福祉部長他3名

4 会議内容

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ

(3) 保健福祉部長あいさつ

(4) 議 事

子どもの福祉医療制度の拡充について ～窓口無料化に向けた検討～

<事務局>

【資料により説明】

発言者	内容
委員	保護者からは窓口無料化を是非進めてほしいという声が多い。また、できるだけ早期に開始されれば有難いと思っている。市長が危惧しているコンビニのように気軽な受診に繋がらないようにという点については、高齢者が医療費の無償化により通院が増えたという事例を聞いたことはあるが、小さい子どもは、自分では通院できないので同じようには増えないと思う。
事務局	発言のあったコンビニ受診については、私達も心配しているが、高齢者と違って子どもは親が医療機関に連れていくので、ある程度抑制が効くと考えている。本市としては、できるだけ適正な受診となるように広報などの、ホームページ、医療機関へのポスター掲示等で啓発やアナウンスを行っていきたいと考えている。
委員	今の保護者はとても忙しく、病院へ通院する時間を頑張って作っていると感じているので過剰受診にはならないと思う。無料だから気軽に行けるといっても、病院には具合の悪い患者が複数受診しているので感染などリスク

委員	<p>を伴う可能性もあり、気軽に受診したいとは思わない。</p> <p>今の発言のとおり忙しいことで受診に繋がらないことはあると思う。もう一方で周囲の関心や同情を引くために病気を装ったり、自らの体を傷付けたりするといった行動が見られる心の病を生み出してしまうこともある。医療現場では難しいケースとなる可能性もあるため啓発を含めシェアしながら対応していくことも大事だと思う。</p>
委員	<p>高齢者は、生活習慣病のように徐々に症状が出てきて受診しているが、子どもの成長期の病気は発熱したり、激痛があったり急性でどうしてもという時に受診している。コンビニに行くように便利だから行くというものではない。このまま拡大して18歳年度末までは無料で進めてもらいたい。</p>
委員	<p>保育園等の施設では傷害賠償保険に加入しており、総合医療費が500点を超える場合は保険対象になる。傷害賠償保険は後日精算であるため一旦医療機関の窓口で自己負担分を全額支払い、その後保護者へ戻入されるシステムである。今までどおり傷害賠償保険を使うのか、窓口無償化になるので保護者による通常受診をしてもよいのか。</p>
事務局	<p>保育園や学校(小～高)での怪我によるものは、スポーツ共済保険を優先して利用していただき、この場合、福祉医療費制度は使うことができない。</p>

(5) その他

(6) 閉 会